

『犬と猫の治療ガイド2号消化管』
訂正とお詫び

掲載記事中、以下の記述に誤りがございました。ここに訂正させていただくとともに読者の皆様および関係者の方々に深くお詫び申し上げます。

株式会社 EDUWARD Press

2025 年 6 月 20 日作成

頁	記事タイトル	該当箇所	誤	正
p. 143	胃腸管型リンパ腫	処方例（大細胞性結直腸型リンパ腫） 1 週目ビンクリスチン硫酸塩 [オンコビン] 特記事項の 3 行目	体重10 kg以下の犬にビンクリスチンを投与する場合は筆者は1.0 mg/kgで使用している。	削除
p. 144	胃腸管型リンパ腫	処方例（大細胞性結直腸型リンパ腫） 4 週目ドキソルビシン塩酸塩 [アドリアシン] 特記事項	起壊死性薬剤であることから、血管外漏出を起こさないよう注意が必要である。 また、心毒性の観点から投与前に心機能の評価を実施する。	体重10 kg以下の犬にドキソルビシンを投与する場合は筆者は1.0 mg/kgで使用している。起壊死性薬剤であることから、血管外漏出を起こさないよう注意が必要である。また、心毒性の観点から投与前に心機能の評価を実施する。